

## 国際理解講演会「韓国の英語教育について」

1月18日（日）交流委員会主催の国際理解講演会「韓国の英語教育について」が行われました。講師は芦屋大学臨床教育学部准教授で国際交流センター室長の金世徳（キムセドク）さんで、最近の韓国での英語教育事情について流暢な日本語で説明してくれました。

近年韓国では英語を話せることが出世への登竜門となるため、自分の子どもを米国へ留学がさせることがブームとなりました。その結果、夫婦こぞって子どもの米国留学を支援するという現象が続いているそうです。

だけど語学留学はお金がかかりだれでもできるわけではないので、韓国内に「英語村（English Village）」と称し、手軽に語学留学気分が味わえる施設が出来ているそうです。皆さんも体験してみたいはいかがですか。



「韓国では金、李、朴、崔、鄭という苗字の人が多いですよ」とまずは韓国の概要をデーターに基づき説明。



「子どもを米国に留学させて英会話を上達させることが韓国では出世の早道で、家売ってでもその資金にしています」など実例を交え語ってくれました。